

ワークフロー



※コニカミノルタ、KONICA MINOLTA ロゴ、シンボルマーク、Giving Shape to Ideas、AccurioPro、AccurioLabel は、コニカミノルタ株式会社の登録商標または商標です。※Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。※その他のブランド名および製品名は各社の登録商標または商標です。※製品の仕様・GJUIは都合により予告なしに変更する場合があります。※本紙掲載の商品の色調は印刷のため実物と異なる場合があります。※本紙掲載の操作パネルの画面はハメコミ合成です。

※コニカミノルタ情報機器事業の生産事業所およびその生産関係会社の全てにおいて ISO14001 を取得しています。また、国内販売会社の全拠点でも認証を取得しています。

国内総販売元
コニカミノルタ ジャパン株式会社
〒105-0023 東京都港区芝浦 1-1-1

製造元
コニカミノルタ株式会社

お客様相談室 ☎ 0120-805039

受付時間は土、日、祝日を除く 9:00~12:00、13:00~17:00 でお受けします。

お問い合わせ 確認のためお問い合わせ内容を録音させていただいております。ご了承ください。
消耗品、修理、保守、サービスに関するお問い合わせは、ご購入いただいた当社販売店へご連絡ください。

製品についての詳しい情報は、インターネットでご覧いただけます。http://www.konicaminolta.jp

本紙の記載内容は2019年6月現在のものです。9251-3255 1906T



KONICA MINOLTA



AccurioPro Label Impose

ワークフローを自動化する
ラベル印刷に最適なソリューション

印刷前準備

ラベル多面付けの自動化

可変データの処理

ラベル間のマージン調整

アイマーク（標準／カスタム）の追加

アートワークのレイアウト

ギャンギング印刷

抜型ツール

ラベル印刷



Giving Shape to Ideas



ラベル印刷で求められる効率化とコスト削減とは？

作業の効率化とコスト削減の点から、ラベル印刷の現場では生産工程を最大限に自動化し、統合することが求められています。また、メディアのロスを最小限にするためにも、これらメディアの効率的な使用も重要な要素となっています。そのため、一般的には複数のラベルを効率的に多面付けしてロールメディアに印刷しますが、この多面付けを行なうことは、複雑な操作と多くの時間を要する作業となります。



ラベル印刷におけるソリューション

AccurioPro LabelImpose

AccurioPro Label Imposeはこれら課題に最適なソリューションを提供するソフトウェアです。面付けや印刷前準備工程を自動化し、シンプルで直感的なユーザーインターフェースを提供。PDFベースのワークフローに対応しており、抜型作成のためのデータ生成が可能なほか、VDPサポートや320×480mmの印字サイズに対応したオペレーションを実現します。

コニカミノルタ製ラベルプリンター AccurioLabel 230/AccurioLabel 190/bizhub PRESS C71cfとAccurioPro Label Imposeの連携により、印刷工程におけるミスを最小限に抑え、そのポテンシャルを最大限に引き出します。

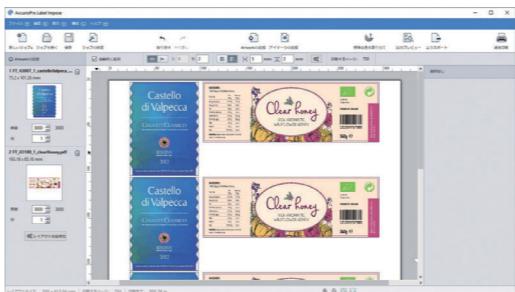
多様なラベルジョブ編集機能

AccurioPro Label Imposeの主な特徴

ジョブ編集

- 多面付けの自動化

ロールメディアに印刷される同一ラベルの多面付けを自動化し、作業が容易になります。



- アートワークのレイアウト

ラベルレイアウトは、自動／手動から選択し調整可能。



- 可変データの処理

可変データもシンプルかつ容易に処理可能。簡単操作で面付されたラベルに流し込むことができます。



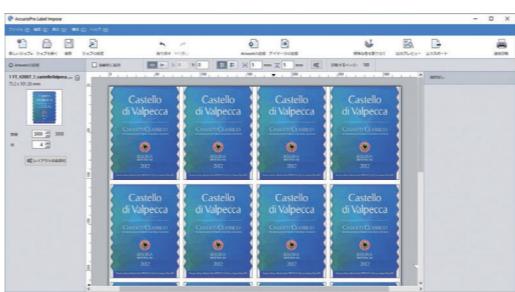
- ギャンギング印刷

一面に同一ラベルあるいは複数の異なるラベルを面付して印刷可能です。



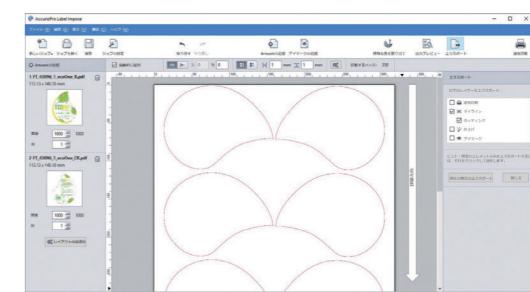
- マージン調整

面付されたラベルの列／行間のマージン調整が可能です。



- 抜型ツール

分版（抜きケイ、スポットニス、箔押しなど）を検出し、PDFデータとしてエクスポートすることで、ツール作成やラベルへの追加処理を可能とします。



- アイマーク（標準／カスタム）の追加

アイマーク（標準／カスタム）を自由に配置できるので、オフライン後処理での作業性が向上します。

